

令和 8 年 度

第 1 回 学 校 歯 科 研 修 会

日 時：令和 8 年 9 月 1 2 日（土）午後 3 時

場 所：札幌歯科医師会館 講堂
【Z o o m ウェビナーによる W e b 同時配信】

研 修 会 日 程

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 講師紹介

4. 講 演



- ①「未来のウェルビーイングにつなげる歯科保健活動と活動の実践」
～ 自立的な健康管理ができる生徒の育成を目指して ～
講師：川口市立安行中学校 養護教諭 三ツ井有希 先生

- ②「ヘルスプロモーションによる生きる力の育成」
～ 徹明さくら小学校での活動を振り返って ～
講師：岐阜市立東長良中学校 養護教諭 奥田 英里 先生

5. 閉 会

【 講師略歴 】

① 川口市立安行中学校 養護教諭 三ツ井有希 先生

日本体育大学を卒業後、私立中学校、高校、国立附属中学校、公立小学校、中学校と様々な校種で、長年養護教諭として勤務をしている。

現在は、埼玉県川口市の公立中学校において、歯科保健を中心に様々な学校保健の取り組みを行っている。生徒の「身体的・精神的・社会的ウェルビーイング」と「自律的な健康管理」の向上を軸とした、教科等横断的な歯科保健教育を実践し、未来を生きる子どもたちが自らの健康を生涯にわたって守り育むための、確かな基盤づくりに注力している。

② 岐阜市立東長良中学校 養護教諭 奥田 英里 先生

岐阜県岐阜市立東長良中学校 養護教諭。令和2年度から令和6年度まで、岐阜県岐阜市立徹明さくら小学校に勤務し、歯科保健を中心とした保健教育の充実を図り、学校全体での組織的な学校保健活動の推進に取り組んだ。本発表は同校在任中の実践を報告する。所属校は、令和4年度日本学校保健会 全国健康づくり推進学校表彰事業にて最優秀校、第63回（令和6年度）全日本学校歯科保健優良校表彰 優秀賞（文部科学大臣賞）を受賞。学校保健活動への貢献により、令和6年度文部科学大臣優秀教員表彰を受けた。

【 抄録① 】

未来のウェルビーイングにつなげる歯科保健教育と活動の実践

～自律的な健康管理ができる生徒の育成を目指して～

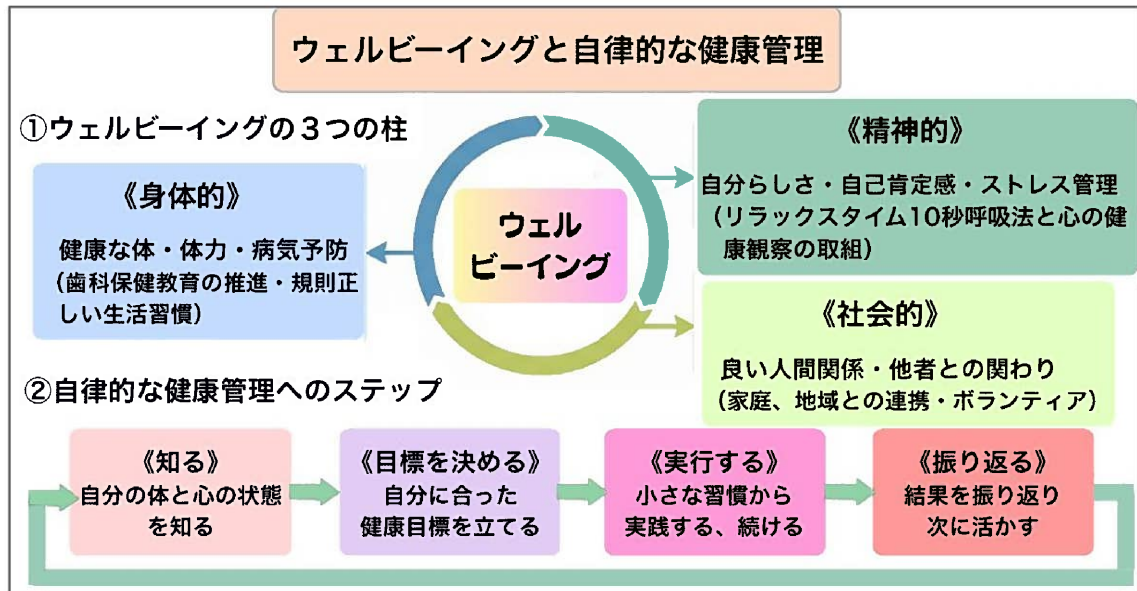
川口市立安行中学校 養護教諭 三ツ井有希 先生

現代の生徒を取り巻く環境は、SNSの普及による人間関係の複雑化、不登校やストレスの増加など、多様な課題に直面している。これからの学校保健においては、単に「病気ではない状態」を目指すだけでなく、生徒が自ら心地よさを感じ、生き生きと過ごせる「ウェルビーイング」の実現と、生涯にわたって心身の健康をコントロールできる「自律的な健康管理能力」の育成が不可欠である。

本校の生徒の実態として、明るく活動的で、行事や部活動等にはエネルギーをもって主体的に取り組む活発さが見られる。一方で、自己肯定感や自己効力感にはやや課題が見られ、失敗を恐れて新しい一步を踏み出すことに躊躇したり、周囲の目を気にして自分の意見を表現しきれなかったりする傾向もある。そのため、本校では、生徒一人ひとりが「自立」し、互いに「共生」しながら「ウェルビーイング」を実感できるよう、3つの柱と実践のための4つのステップが連動することで、生徒の自律的な能力が育成されるように、学校・家庭・地域が一体となり、様々な取組を推進している。

3つの柱の一つである「身体的ウェルビーイング」の取組では、様々な歯科保健教育と活動を実践している。本日は、歯科保健に関する実践について発表させていただくと

ともに、歯科保健教育と活動の強化をしてきた、令和4年度から現在に至るまでの、本校における生徒の意識や行動変容のプロセス、ならびに具体的な成果と課題についてご報告したいと考えている。家庭や地域、学校歯科医と連携した多角的なアプローチが、子どもたちの健康習慣にどのような影響を与えたかを中心に、実践事例をご紹介します。



【 抄録② 】

「ヘルスプロモーションによる生きる力の育成」

～徹明さくら小学校での活動を振り返って～

岐阜市立東長良小学校 養護教諭 奥田 英里

子供たちが生涯にわたり健康に生きる力を育むことを目指し、歯科保健活動を保健教育の窓口として位置付け、ヘルスプロモーションの考え方を基盤とした取組を進めた。自らの健康課題に気付き、より良い生活習慣を主体的に選択・実践できる力を育むため、学校全体で組織的な活動を展開した。

口腔の健康づくりでは、予防歯科の考え方を取り入れ、家庭で行うセルフケアと歯科医院で受けるプロケアの重要性を伝える活動を実施した。児童が「口腔の健康のためにこれやってみよう」と意欲的に学び、実践につなげられるよう、学習活動や保健指導を行った。また、リスクファクターへの対応に加え、子供たちの「JTY 自分から楽しくやってみよう！」という思いや行動を支えるハピネスファクターにも着目した。保護者と共に参加する地域行事では、歯科医師の協力のもと模擬歯科医院を出展し、むし歯治療の体験を実施した。さらに地域保健センターの管理栄養士による食品選択の活動を組み合わせ、口腔の健康が全身の健康を支える大切な要素であることを考える機会を設けた。

本発表では、学校・家庭・地域が連携して取り組んだ歯科保健活動を窓口とした保健教育の実践と、その工夫について報告する。